

Pictet Market Monthly

2015年1月のバイオ医薬品市場

バイオ医薬品関連企業の株価動向

1月のナスダック・バイオテック指数(ドルベース、配当含まず)は上昇しました。好調な業績発表、相次ぐ新規株式公開(IPO)ならびに増資等が貢献し上昇しました。

承認関連ニュースでは、インターセプト・ファーマシューティカルズ(米国)の肝線維症を伴う非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)治療薬候補が米国食品医薬品局(FDA)の画期的治療薬の指定を受けました。

治験関連ニュースでは、ニューロクライン・バイオサイエンス(米国)が子宮内膜症治療薬候補エラゴリクスについて、センプラ・ファーマシューティカルズ(米国)が、肺炎の経口治療薬候補ソリスロマイシンについて、いずれもフェーズ3治験の良好な結果を発表しました。また、ハロザイムセラピューティクス(米国)はすい臓がん治療薬候補PEG-PH20について、ザフゲン(米国)は視床下部の損傷に起因して生じる肥満の治療薬候補について、いずれもフェーズ2治験の良好な結果を発表しました。メディベーション(米国)は、前立腺がん治療薬候補エンザルタミドのフェーズ2治験の結果、効用の面で良好な結果を得たものの、初期前立腺がん患者の心臓機能の安全性を示す兆候は確認できなかったことを発表しました。

M&A(合併・買収)関連ニュースでは、シャイアー(アイルランド)がNPSファーマシューティカルズ(米国)を総額52億ドルで買収しました。ロシュ・ホールディング(スイス)は10億3,000万ドルでファンデーション・メディシン(米国)の株式の過半数を取得しました。また、未上場銘柄の買収では、ギリアド・サイエンシズ(米国)がフェネクス・ファーマシューティカルズ(ドイツ)の肝臓疾患治療薬開発プログラムの買収を、バイオジェン・アイデックが神経因性疼痛治療薬を手がけるコンバージェンス(英国)を買収しました。

その他のニュースでは、2014年12月には、C型肝炎治療薬を巡るアツヴィ(米国)と薬剤給付管理最大手エクスプレス・スクリプト・ホールディング(米国)との取引が市場の注目を集めました。ギリアド・サイエンシズはこれに対抗し、同社のC型肝炎治療薬について複数の薬剤給付管理機関との間で独占的な販売契約を締結しました。

今後のバイオ医薬品市場見通し

医薬品価格引下げ圧力の高まりなどのマイナス材料もあるものの、ここ最近の大型医薬品の承認や、有望な新薬のパイプ

ラインの動向から、バイオテクノロジー企業群は引き続き成長が期待できると考えており、今後数年にわたってヘルスケアセクターを上回る売上成長が期待できると見えています。こうした成長性に加えて、良好な治験結果が示されれば、中長期的にはゲノム関連企業の株価は引き続き上昇基調が期待できると考えます。短期的には決算と治験結果の発表が注目されます。

(※将来の市場環境の変動等により、上記の内容が変更される場合があります。)

図表1: バイオ医薬品株価指数
(ナスダック・バイオテック指数)の推移

	2015年1月30日時点			
	前月比	過去3ヵ月	過去1年	
ナスダック・バイオテック 指数(ドルベース)	5.9%	8.4%	31.0%	
ナスダック・バイオテック 指数(円換算ベース)	3.9%	17.3%	50.6%	
ダウ工業株30種平均 指数(円換算ベース)	-5.5%	6.7%	25.7%	
円/ドルレート	-1.9%	8.1%	15.0%	
(参考)	当月	前月	3ヵ月前	1年前
円/ドルレート	118.25	120.55	109.34	102.86
PSR(実績ベース)	9.1	8.7	8.8	8.4
		過去3年	過去5年	過去10年
ナスダック・バイオテック 指数(ドルベース)		178.9%	291.2%	363.9%
ナスダック・バイオテック 指数(円換算ベース)		331.8%	415.3%	429.5%
ダウ工業株30種平均 指数(円換算ベース)		110.4%	124.6%	86.8%
円/ドルレート		54.8%	31.7%	14.1%
(参考)		3年前	5年前	10年前
円/ドルレート		76.38	89.77	103.61
PSR(倍、実績ベース)		4.8	4.9	7.8

※為替レートは対顧客電信売買相場の仲値

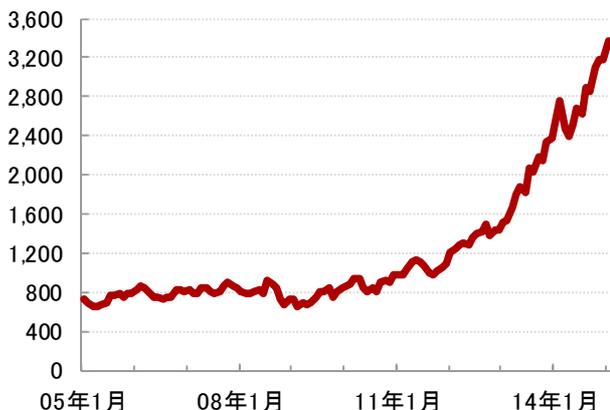
※PSR: 株価売上高倍率。2014年3月末時点のナスダック・バイオテック指数構成銘柄を基に算出

出所: トムソン・ロイター・データストリームのデータを使用しピクテ投信投資顧問株式会社作成

記載されている個別の銘柄・企業については、あくまでも参考情報であり、その銘柄・企業の売買を推奨するものではありません。また、記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

図表2: ナスダック・バイオテック指数

(米ドルベース、月次、期間: 2005年1月~2015年1月)



出所: トムソン・ロイター・データストリームのデータを使用しピクテ投信投資顧問株式会社作成

図表3: 今後のバイオ関連学会予定

開催期間	学会名
2015年2月20日~2月24日	米国アレルギー・喘息・免疫学会議 (AAAAI)
2015年3月5日~3月8日	米国内分泌学会議 (ENDO)
2015年3月14日~3月16日	米国心臓学会議 (ACC)
2015年4月18日~4月22日	米国がん研究学会議 (AACR)
2015年4月18日~4月25日	米国神経学会議 (AAN)
2015年5月29日~6月2日	米国がん治療学会議 (ASCO)
2015年6月5日~6月9日	米国糖尿病学会議 (ADA)
2015年6月10日~6月13日	欧州リウマチ学会議 (EULAR)
2015年6月11日~6月14日	欧州血液学会議 (EHA)
2015年6月12日~6月15日	欧州高血圧学会議 (ESH)
2015年8月23日~8月28日	国際血液学会議 (ISH)
2015年9月17日~9月21日	インターサイエンス学会議 (ICAAC)
2015年10月9日~10月12日	米国骨代謝学会議 (ASBMR)
2015年10月27日~10月29日	米国神経学会議 (ANA)
2015年11月6日~11月11日	米国リウマチ学会議 (ACR)
2015年11月7日~11月11日	米国心臓病学会議 (AHA)
2015年11月30日~12月4日	国際糖尿病学会議 (IDF)
2015年11月5日~11月9日	米国アレルギー・喘息・免疫学会議 (ACAAI)
2015年12月5日~12月8日	米国血液学会議 (ASH)
2016年1月21日~1月23日	ASCO消化器がんシンポジウム

※バイオ関連学会予定に掲載の学会の開催期間は変更、延期、中止されることがあります。

出所: 各種資料を使用しピクテ投信投資顧問株式会社作成

図表4: 今後製造承認・販売が期待される
バイオ新薬(ピーク時予想売上高2.5億ドル以上)

薬品名 会社名	治療対象病名 承認・販売目標
イサブコナゾール	襲性アスペルギルス症/侵襲性 ムコール菌感染症
バシレア・ファーマシューティカ	2015年第1四半期
イバブラジン	慢性心不全
アムジェン	2015年第1四半期
レブラミド	多発性骨髄腫 (ファーストライン適用拡大)
セルジーン	2015年第1四半期
アスフォターゼアルファ	低ホスファターゼ血症
アレクシオン・ファーマシューティカルズ	2015年上期
カリデコトルマカトルの併用	嚢胞性線維症
パーテックス・ファーマシューティカルズ	2015年第1四半期
Auryxia (クエン酸酸化鉄)	高リン血症
ケリックス・バイオファーマシューティカルズ	2015年第3四半期
Rolapitant	化学療法が誘発する悪心嘔吐
テサロ	2015年第3四半期
エボロクマブ	高コレステロール薬
アムジェン	2015年第3四半期
Aripiprazole Lauroxil	統合失調症
アルカームス	2015年第3四半期
セベリパーゼアルファ	リソソーム酸リパーゼ欠損症
シナゲバ・バイオファーマ	2015年第3四半期
アリロクマブ	高コレステロール血症
リジェネロン	2015年下期
ドリサベルセン	デュシエンヌ型筋ジストロフィー
バイオマリン・ファーマシューティカル	2015年下期
タリモゲン	転移性黒色腫
アムジェン	2015年下期
Zalviso	術後の痛み
アセルRXファーマシューティカルズ	2015年下期
テノホビル・アラフェナミド	HIV
ギリアド・サイエンシズ	2015年第4四半期
オベチコール酸	原発性胆汁性肝硬変
インターセプト・ファーマシューティカルズ	2015年第4四半期
Patiramer	高カリウム血症
レリプサ	2015年第4四半期
Selexipag	肺動脈高血圧症
アクテリオン	2015年第4四半期

出所: 各種資料を使用しピクテ投信投資顧問株式会社作成

記載されている個別の銘柄・企業については、あくまでも参考情報であり、その銘柄・企業の売買を推奨するものではありません。また、記載のデータは、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

〈次ページに続きます〉

バイオ医薬品関連企業の売上高は相対的に高い伸びが見込まれる

バイオ医薬品関連企業の売上高は、新興国の企業を上回って堅調に成長してきました。(図表5参照)

バイオ医薬品関連企業については、①有望な治療薬候補の良好な治験結果の発表、②大型の新薬の承認、③新薬販売開始後の業績寄与の拡大などを背景に、米国企業や日本企業よりも相対的に高い売上高の伸びが見込まれています。(図表6参照)

売上高の伸びに沿って株価も上昇

過去の実績では、バイオ医薬品関連企業の株価は、売上高の伸びとともに上昇してきたことがわかります。

(図表7参照)

バリュエーション: 上昇傾向にあり

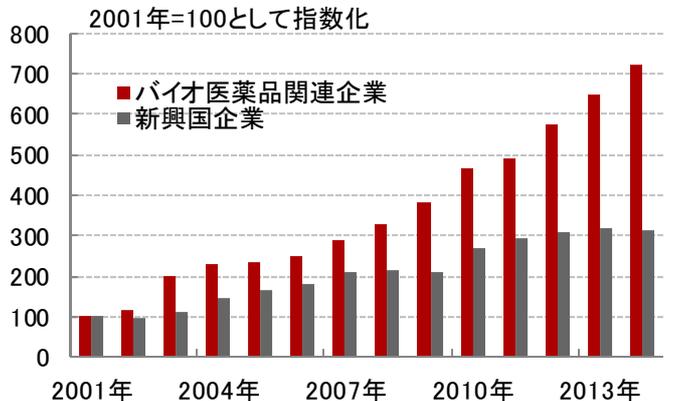
2011年以降、バイオ医薬品関連株式の株価が大きく上昇したことから、PSR(株価売上高倍率)で見たバリュエーション(投資価値評価)は、ここ数年でみると高い水準にあり、一部、割高となっている可能性もあります。

(図表8参照)

(※将来の市場環境の変動等により、上記の内容が変更される場合があります。)

図表5: 売上高の推移

(米ドルベース、期間: 2001年12月末~2014年12月末)



※バイオ医薬品関連企業: ナスダック・バイオテック指数
新興国企業: MSCI新興国株価指数構成銘柄
※売上高は一株あたり売上高(指数の値とPSR(株価売上高倍率)から算出)
出所: ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

MSCI指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

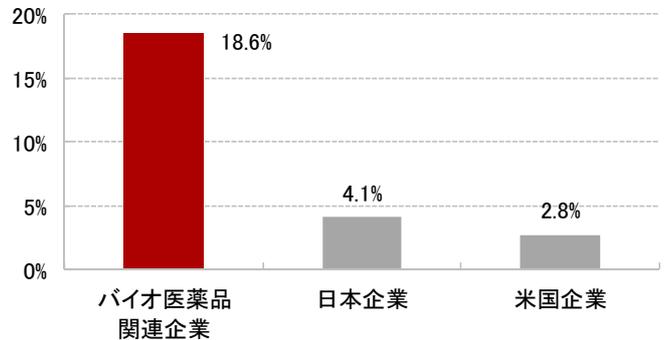
記載のデータは、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料をご利用にあたっての注意事項等

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものではありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資家保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。

図表6: 今後2年間の売上高伸び率予想

(年率、2015年2月9日時点、ブルームバーグ集計アナリスト予想平均)



※バイオ医薬品関連企業: ナスダック・バイオテック指数、米国企業: S&P500種株価指数、日本企業: TOPIXの構成銘柄
出所: ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

図表7: バイオ医薬品関連企業の売上高と株価の推移

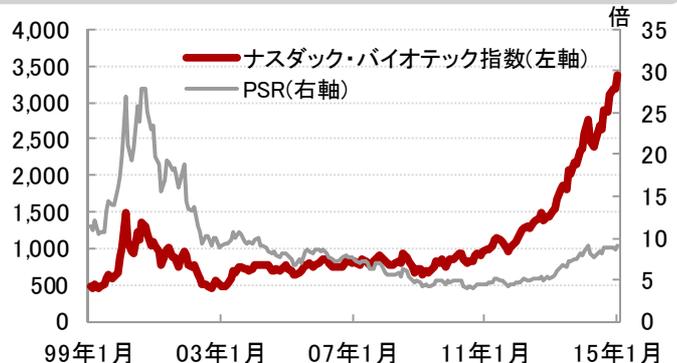
(期間: 2004年12月末~2014年12月末(実績)、2015~2016年(予想))



2004年 2006年 2008年 2010年 2012年 2014年 2016年
※バイオ医薬品関連企業: ナスダック・バイオテック指数
※一株あたり売上高は、指数の値とPSR(株価売上高倍率)から算出
※2015年、2016年の一株あたり売上高はブルームバーグ集計アナリスト予想平均(2015年2月9日時点)
出所: ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

図表8: ナスダック・バイオテック指数とPSR

(米ドルベース、月次、期間: 1999年1月~2015年1月)



※PSR: 株価売上高倍率。2014年3月末時点のナスダック・バイオテック指数構成銘柄を基に算出 出所: トムソン・ロイター・データストリームのデータを使用しピクテ投信投資顧問株式会社作成